

第2回 輝く女性研究者活躍推進賞 (ジュンアシダ賞)

女性が挑戦し続ける「まゆだまの10年」

～女性研究者がつながり紡ぐイノベーション～



国立大学法人 **群馬大学**

NATIONAL UNIVERSITY CORPORATION
GUNMA UNIVERSITY



学長 平塚浩士

群馬県唯一の国立大学 4学部からなる総合大学

全国初の「共同教育」！
地域の教師教育拠点

共同教育学部

荒牧キャンパス
前橋市

文理融合！2021年情報学部へ改組
4プログラムで「情報」のスペシャリストに

社会情報学部

理工学部

桐生キャンパス
桐生市
太田キャンパス
太田市

2類8プログラム！
新生・理工学部へ

北関東随一！
強固な医療ネットワーク
医学科

医学部

昭和キャンパス
前橋市

WHOにも指定！
チーム医療教育
保健科



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

緑に囲まれた広々としたキャンパスで最先端の事業



<https://www.youtube.com/user/GunmaUniversity>

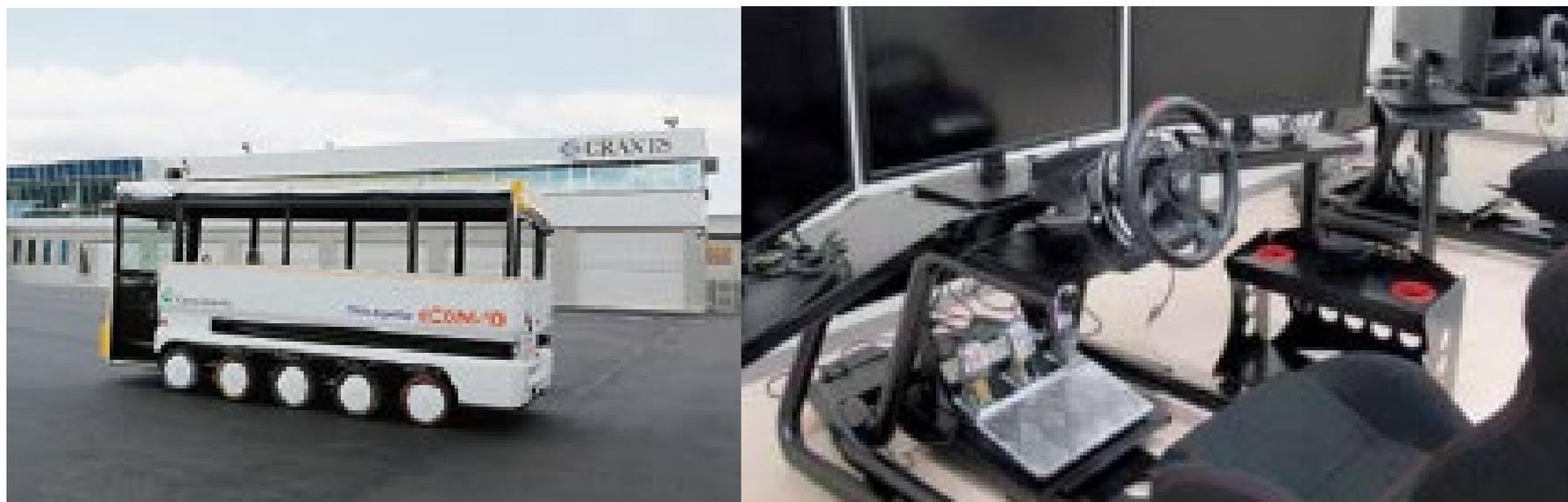


緑に囲まれた広々としたキャンパスで最先端の事業

- 重粒子線医学センター（世界に誇る重粒子線がん治療）



- 次世代モビリティ社会実装研究センター（自動運転の社会実装）



群馬大学のビジョン

地域に根差し、知的な創造を通して、世界の最先端へとチャレンジし、21世紀を切り拓く大学へ

学長のコミットメント

●群馬大学は、多様性と活力ある研究環境の実現をめざし「**まゆだまの10年(2013-2022)**」として男女共同参画を恒常的に発展させる。

◎まゆだまプラン（2013～2015）及び
まゆだまプランアドバンスト（2017～
2022）を展開



まゆだま10年の取組により、
女性研究者がつながり紡ぐイノベーションの「好循環」を構築します。

「まゆだまの10年」の主な取り組み①

10年後を見据え 中長期的視点で実施

- 推進体制の整備 ▶ 男女共同参画推進室の設置
(事業の企画・提案・実施)

各キャンパスに情報交流の拠点「まゆだま広場」を展開



利用者
延べ **6,806人**

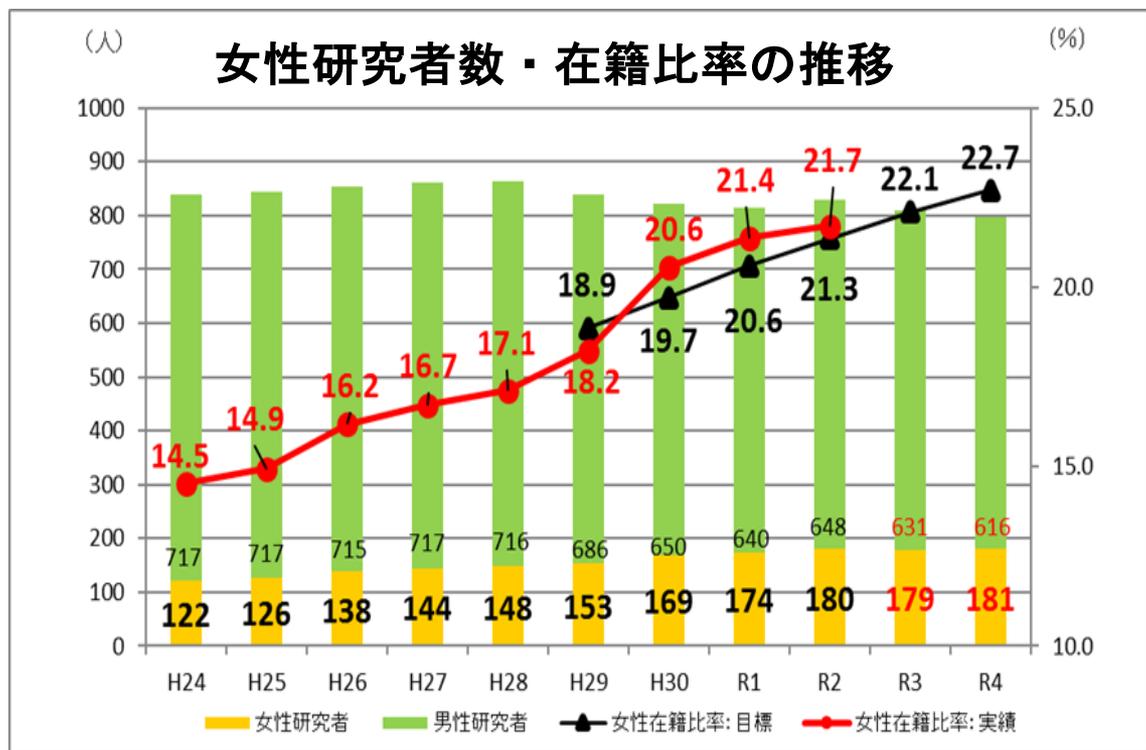


「まゆだまの10年」の主な取り組み②

10年後を見据え 中長期的視点で実施

● 女性研究者の獲得、登用の取組み

▶ 3つの数値目標を早期に達成



① 女性研究者

20.0%

② 女性役員

12.5%

③ 女性管理職

14.5%

10年後を見据え 中長期的視点で実施

- 女性研究者が活躍しやすい環境づくり



両立支援アドバイザーの配置による相談の実施

2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
101 件	133 件	186 件	261 件	210 件	246 件



* 子育てしやすい職場として「くるみん」認定



* 群馬県知事表彰「ぐんま輝く女性支援賞」を受賞

新たな取り組みとして

● 性の多様性に関する「基本的考え」と 「対応ガイドライン」を策定（2019年）



効果

- 相談窓口の設置
- 学籍上の性別の変更
- 通称名の利用
- 施設設備の整備等

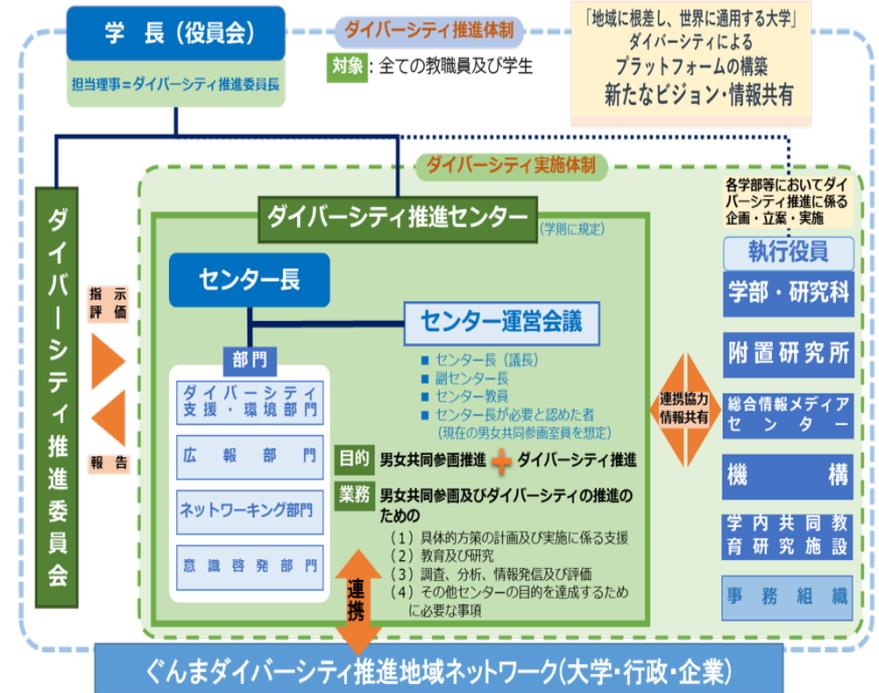
ダイバーシティ推進センターの設置（2020年4月～）

目的

- ①男女共同参画に加えダイバーシティ推進を全学で進める
- ②男女共同参画とダイバーシティの教育研究を発展させる

組織を学則に位置づけるとともに、専任教員を増やし持続可能な体制を整備

ダイバーシティ推進センター関連組織図（令和2年4月1日より）



新体制でSDGsへ貢献



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



効果

SDGs
学内外への促進に貢献

活躍推進賞受賞の対象となった取り組み

● 地道な支援の展開

取組 1 理工学府女性限定公募の実施

取組 2 医学系上位職ポストアップシステム

● 支援継続の効果を実証

取組 3 大学独自の研究費助成の継続

取組 4 効果の分析を通じ、意義の裏付け

● 地域連携の展開

取組 5 ぐんまダイバーシティ推進ネットワーク

取組1-1 理工学府 初の女性限定公募の実施

群馬大学初 女性研究者限定公募 実施

女子学生や大学院生のロールモデルとなる女性教員を増やす

目標

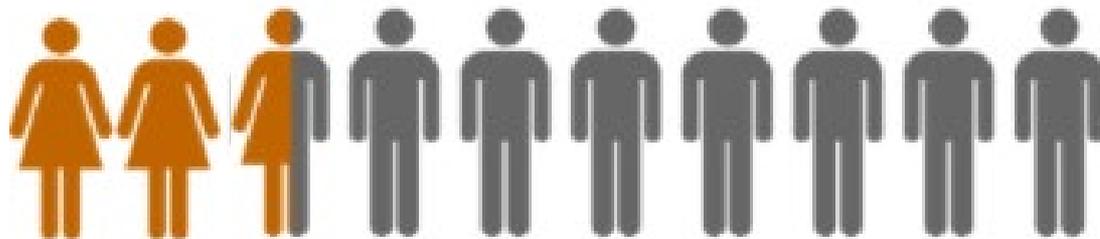
重点学部の理工学府では、年平均1名以上の女性の採用をめざす

実績

毎年1名以上の女性採用を達成、採用比率平均3割

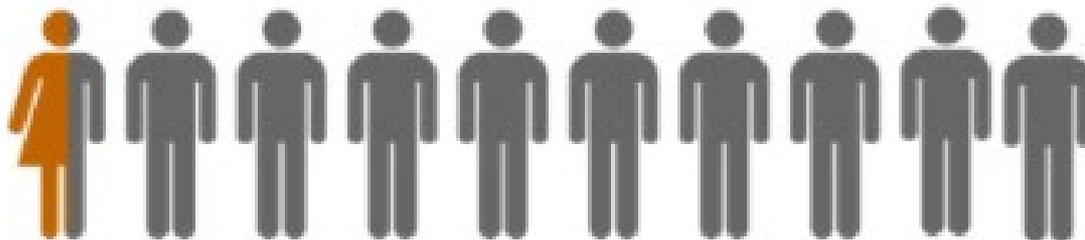
大学院博士後期
課程

12.3% → **25.8%**



女性研究者

2.0% → **6.2%**



今後も戦略的に採用を進めていく

取組1-2 理工学府 初の女性限定公募で上位職増加

ポジティブアクション「まゆだま加速プラン」実施（2017年～）
全学経費において、女性限定公募スタートアップ経費120万円を確保し、
さらに魅力ある研究環境を整え、早期の上位職へのキャリアアップを支援

効果

女性限定公募により理工学府において上位職が増加

（女性教授1名から、現在女性教授2名、准教授3名）

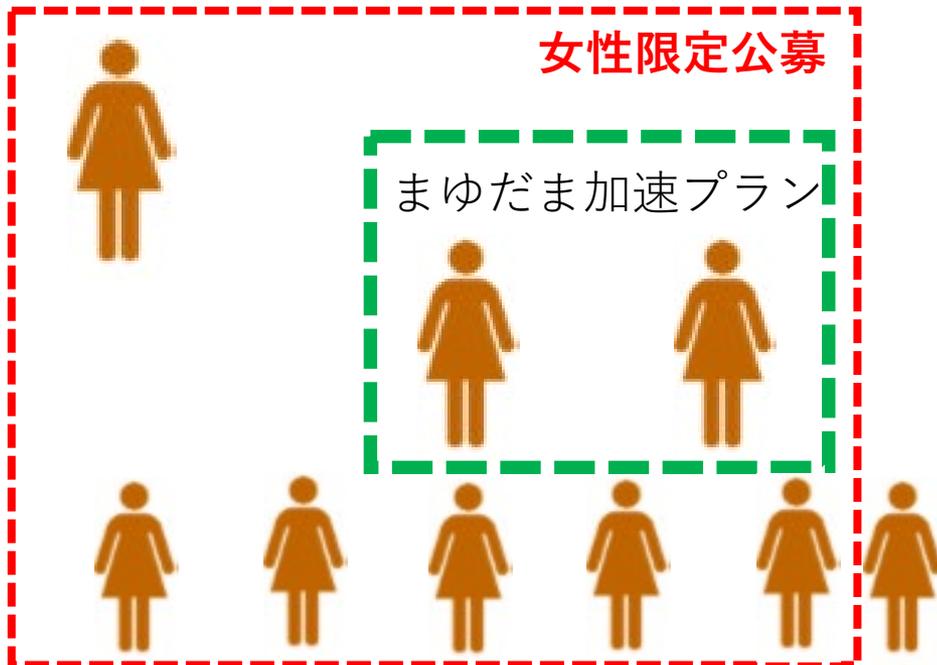
教授
2名



准教授
3名



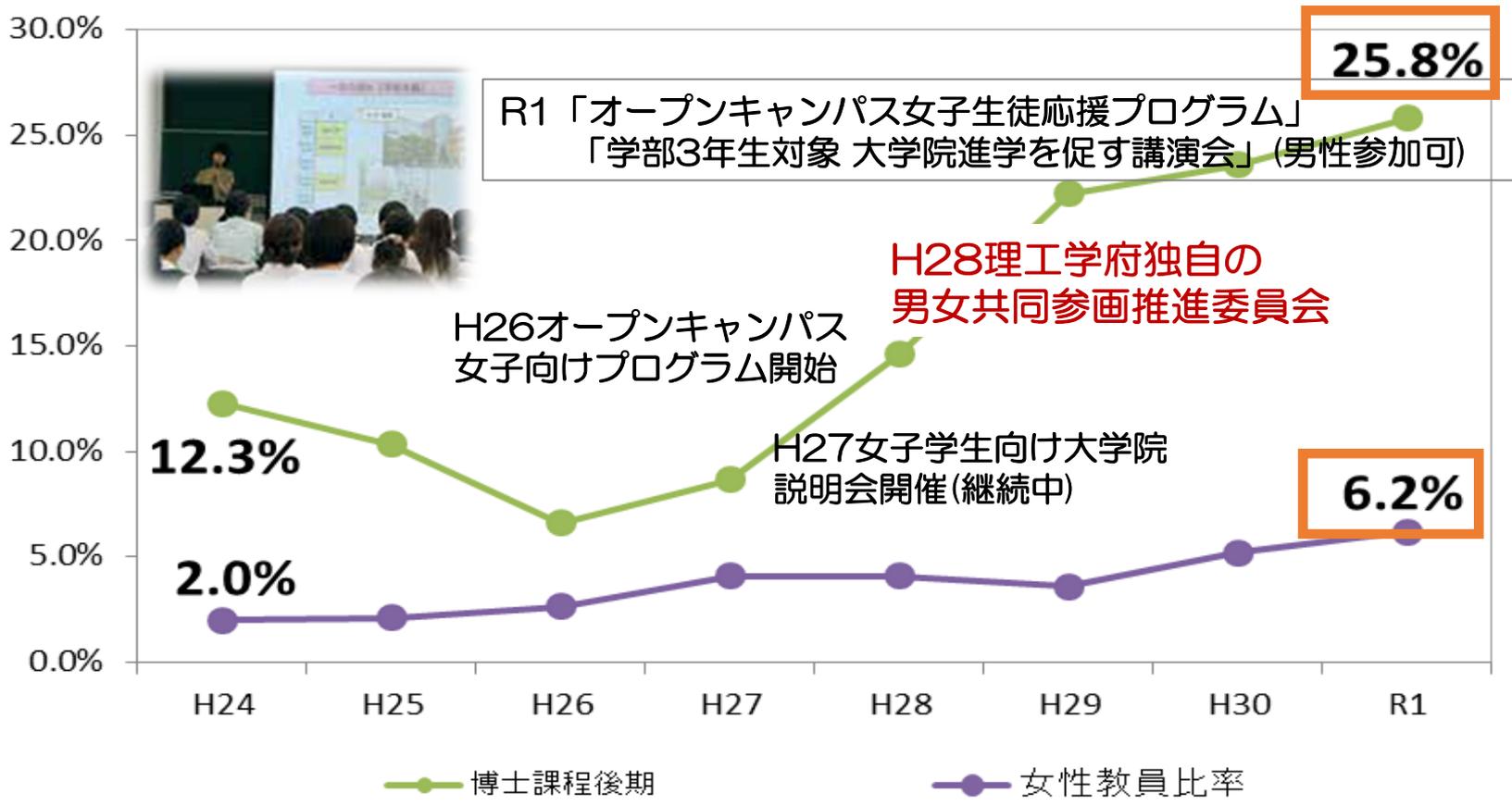
助教
8名



目標を超える効果

効果 女性研究者の増加は、女子学生増加への好循環を生み出す

理工学府大学院博士後期課程と女性研究者の推移



取組成果 | 女性大学院生、教員比率の増加

取組2-1 医学系での女性活躍推進の取り組み



ホーム	ご挨拶	委員紹介	活動報告	応援メッセージ・事例紹介
-----	-----	------	------	--------------



医学系男女共同参画推進委員会として 計画に基づき本格的な活動を開始

実績

- 新設HPを開設 活動や事例紹介等を掲載
- 2018年8月
「ワーク・ライフ・バランスと
キャリアアップに関するアンケート」

ワーク・ライフ・バランスとキャリアアップに
関するアンケート

報告書

平成31年2月



群馬大学医学系研究科男女共同参画推進委員会

取組2-2 医学系委員会が主導してポストアップシステム構築

● 医学系における学生・大学院生及び研究者の女性比率 全国平均と本学との比較(2018年度)

	学士課程 (%)	修士課程 (%)	博士課程 (%)	専門職 学位課程 (%)	学生 合計 (%)	助教 (%)	講師 (%)	准教授 (助教授) (%)	教授 (%)	教員(助手 を除く) 合計 (%)
全国平均	31.6	47.8	25.7	62.1	30.8	22.9	12.3	10.7	3.8	16.6
群馬大学	33.1	50.0	26.6	—	32.0	26.0	18.5	9.1	0	20.4

現状把握の結果

教授職が全国平均を大きく下回っている

取組2-3 医学系委員会が主導してポストアップシステム実現

目標

医学系女性研究者上位職ポストアップシステム (2009~2022)

女性研究者リストも活用し、**准教授から教授、講師から准教授へのポストアップ**を計画的に進める。

- ①**独自の昇任の評価項目(教育活動の重みづけ等)を策定**
- ②定年予定の**医学系の教授・准教授ポストのうち25%(女性5名)を採用**

効果

2020年5月

医学系で初めて女性教授1名が内部登用

(女性教授0名、准教授2名から、現在女性教授1名、准教授3名)

取組3 大学独自の研究費助成の継続

実績

3つの研究助成を継続実施

- 助成① 独自の女性研究助成
- 助成② 女性研究者共同研究促進助成
- 助成③ 研究活動支援員の配置

効果

研究助成の効果分析を通じ、意義の裏付けへ

取組4 効果の分析を通じた意義の裏付け

●研究力可視化のための新たな取組み

女性研究者の研究成果の評価について、新たに、研究推進課(事業分析担当)との協力により、性別によるデータベース（ジェンダー統計）を構築、
順次更新

このジェンダー統計を、今後の教授・准教授へのキャリアアップや業績評価に活用

助成① 独自の研究助成継続が確実に効果を発揮

女性採択者の 科学研究費採択推移

助成金 利用年度	翌年の科研費採択数(女性) /研究助成採択数(女性)	科研採択率
2012 H24年度	1/15	6.7%
2013 H25年度	3/14	21.4%
2014 H26年度	2/12	16.7%
2015 H27年度	3/10	30.0%
2016 H28年度	5/13	38.5%
2017 H29年度	6/14	42.9%
2018 H30年度	6/13	46.2%

効果

支援の継続
により
翌年度の
採択率上昇

* 研究・産学連携戦略推進機構と連携し継続実施

助成② 女性研究者共同研究促進助成からの展開

女性研究者 共同研究促進事業 採択者の研究資金獲得件数

2017- 2019	プロジェクトリーダー 【A型】助成50万円		研究会企画・提案 【B型】助成10万円		研究資金獲得
	採択数	申請数	採択数	申請数	翌年新規科研+継続科研
	23	(40)	10	(15)	5 + 9

効果

B型からA型へ、A型から**科研の共同研究へと展開**

*事業目標値 マッチング10件・共同・受託研究15件

URAとの
協力体制

実績

マッチング実施 4件
共同研究4件・受託研究13件 計17件

助成③ 研究活動支援員の配置で研究継続から好循環

研究活動支援制度(研究活動支援員配置)

* 月平均10時間程度配置

* H28から自主経費

【実績】	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	総数
支援利用研究者	30名	26名	26名	25名	28名	27名	26名	58名 (実数)
研究活動支援者	70名	54名	39名	42名	48名	45名	-	298名 (延べ)

※支援員に対しても研究倫理教育(APRIN e-ラーニングプログラム)の履修を義務付け

実績

H26年度より **58名** のライフイベントを抱える研究者へ配置

効果

支援利用者の科研費採択数 **0.78件** (全学平均0.55件)

(令和元年実績)

効果分析は、アンコンシャスバイアスの是正につながる

平成30年度科研費採択数と1人当たりの獲得経費

	在籍数(人)	科研採択(人)	男女別採択率	採択者一人当たり直接経費(円)	採択者一人当たり間接経費(円)
女性	164	85	51.8%	2,735,294	820,588
男性	638	308	48.3%	1,800,649	540,195

【成果】 「まゆだま」の様々な支援を得て、採択率の向上のみならず獲得経費も男性を上回る

取組成果 II

無意識のバイアスの是正

取組5-1ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワークで地域活性化

← → ↻ gunma-diversity.gunma-u.ac.jp ☆

トップページ

組織概要

イベント

女性研究者シーズ集

ぐんま ダイバーシティ推進 地域ネットワーク

注目！群馬の頼れる女性研究者600人

群馬県内16の高等教育機関にネットワークが広がっています

男女共同参画やダイバーシティ推進を目的として、群馬県内の高等教育機関が初めてネットワークを結成することとなりました。現在16機関が賛同しています。群馬の未来のために、女子学生や女性研究者など多様な人材が活躍できる地域連携のあり方を考えていきます。

取組5-2 学内外のネットワークの構築とイノベーションの創出

「ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク」により 学内外のダイバーシティ環境創出

ネットワーク事務局



国立大学法人 群馬大学
NATIONAL UNIVERSITY CORPORATION
GUNMA UNIVERSITY

- 就職企業開拓
- キャリア形成
- 共同研究開発

関係自治体

産業界・企業

群馬県・前橋市・桐生市・高崎市他
Panasonic・ORIX・サテンホールディングス
・丸三綿業・沖電気工業・富士重工業
・セイワ食品・オリヒロ・免疫生物研究
所・ケアコム・クインタイルトランスナショナル
ジャパン・JR東日本・ALPHA・(福)浴風
会・東和銀行・群馬銀行他

県内高等教育機関

16賛同機関

女性研究者 603名

連携

❖ ぐんま女性研究者アセンブリー (研究交流会) の開催

- ◆ ポスターセッション
- ◆ 活躍する女性研究者の講演
- ◆ ワークショップ「キャリアパス・WLBについての意見交換」



* 好評だったワークショップ

取組5-3 ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワークから発信

● ネットワークに所属する 女性研究者シーズ集を ホームページに掲載



専門分野・研究紹介・
社会貢献・所属審議会・
講演演題などを掲載

効果

地域人材を情報発信し、
共同研究や地域活性化へ
つなげる

取組成果Ⅲ

他機関への波及効果と地域貢献

Best Practice好事例 研究支援対象者の活躍(医学系)

医学系ロールモデルとして活躍 (共同研究者延べ14名)

支援総額計 1,325千円

直接経費計 31,720千円

間接経費計 9,516千円



効果

ポストアップ

2017-2018年度
論文 6編
著書 1冊
学会発表 11回
講演会 9回

2019
日本医学会
総会奨励賞
過去3年の業績

2017
准教授へ昇任

2017
国際共同研究加速基金
(国際共同研究強化) 11,830千円

2017-2019
若手研究(A) 17,160千円

2012
出産

2011-2012
若手研究(B) 2,730千円

2015
講師へ昇任

支援額内訳	2014	2015	2016	2017	2018	2019
研究活動支援	310千円	166千円		164千円	96千円	89千円
女性研究者共同研究助成【A型】				500千円		

A photograph of four people (three men and one woman) jumping joyfully in the air. They are positioned in front of a building and lush green trees. The scene is bright and cheerful, with a clear sky. The text is overlaid on the center of the image.

群を抜ける
駆ける
世界を

NATIONAL UNIVERSITY CORPORATION
GUNMA UNIVERSITY